

令和5年度

事業報告書

事業報告の附属明細書

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日



社会福祉法人

伊勢崎市社会福祉協議会

<目次>

□総務企画課	1
1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営	
2. 苦情解決、情報公開体制の整備	
3. 会費他自主財源の確保	
4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施	
5. 総合企画関連事業の実施	
6. その他の事業・業務	
□地域福祉推進課	5
1. 地域福祉推進事業	
2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進	
3. 相談事業の開催	
4. 権利擁護体制の充実	
5. 生活困窮者への支援	
6. 社会参加・生活支援充実	
7. 関係団体等への支援	
8. 各支所との連絡調整	
9. 共同募金会への協力	
10. 戦没者等追悼式の執行	
11. その他の地域福祉推進	
◇ボランティア・市民活動センター	18
◇障害者相談支援センター	23
◇赤堀支所	25
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. 赤堀地区社会福祉協議会	
◇あずま支所	27
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. あずま地区社会福祉協議会	

◇境支所	29
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. 境地区社会福祉協議会	
□在宅福祉課	32
1. 介護保険事業の経営	
2. 障害者福祉サービス事業の実施	
3. その他在宅福祉サービスへの対応等	
□施設管理課	43
1. 指定管理施設の管理運営	
2. 社会福社会館の管理	

注記：事業報告の附属明細書につきましては、事業報告と一体として作成しています。

□総務企画課

1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営

○理事会

- ・第1回 令和5年6月6日（火） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第1号 令和4年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について
 - (2) 議案第2号 令和4年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - (3) 議案第3号 施設の長他の重要な職員の選任について
 - (4) 議案第4号 理事の候補者について
 - (5) 議案第5号 監事の候補者について
 - (6) 議案第6号 評議員候補者の推薦について
 - (7) 議案第7号 評議員選任・解任委員の選任について
 - (8) 議案第8号 令和5年度第1回評議員会について

- ・第2回 令和5年6月22日（木） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 会長の選定について
 - (2) 副会長の選定について

- ・第3回 令和5年7月27日（木） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第9号 令和5年度資金収支予算の補正について
 - (2) 議案第10号 表彰等対象者の審査及び決定について

- ・第4回 令和5年9月26日（火） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第11号 令和5年度資金収支予算の補正について

- ・第5回 令和5年12月26日（火） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第12号 令和5年度資金収支予算の補正について

- ・第6回 令和6年3月7日（木） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第13号 定款の変更を伴う事業の追加について
 - (2) 議案第14号 令和5年度資金収支予算の補正について
 - (3) 議案第15号 令和6年度事業計画（案）について
 - (4) 議案第16号 令和6年度資金収支予算（案）について
 - (5) 議案第17号 令和5年度第2回評議員会について
 - (6) 議案第18号 役員等賠償責任保険契約について
 - (7) 議案第19号 児童関係施設の指定管理者の指定申請について
 - (8) 議案第20号 高齢者関係施設の指定管理者の指定申請について

○評議員会

- ・第1回 令和5年6月22日（木） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - (1) 議案第1号 令和4年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について
 - (2) 議案第2号 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について
 - (3) 議案第3号 理事の選任について
 - (4) 議案第4号 監事の選任について

- ・第2回 令和6年3月22日（金） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - (1) 議案第5号 定款の変更を伴う事業の追加について（公益事業に関する重要な事項）
 - (2) 議案第6号 定款の変更について
 - (3) 議案第7号 令和6年度事業計画（案）の承認について
 - (4) 議案第8号 令和6年度資金収支予算（案）の承認について

2. 苦情解決、情報公開体制の整備

福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決する体制を整備し、利用者の権利を擁護すること、また、利用者が本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援することを目的としています。

情報公開第三者委員会については、情報公開規程における開示申出者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設けられています。

苦情解決に関する第三者委員及び情報公開第三者委員は各3人です。

(1) 苦情解決に関する第三者委員・情報公開に関する第三者委員 第1回合同会議

日時：令和5年12月19日（火） 午前9時30分から午前10時42分

場所：社会福祉会館 4階第2会議室

○苦情解決に関する第三者委員会

- ・令和4年12月～令和5年11月現在までの苦情等解決状況報告
- ・意見交換ほか

○情報公開に関する第三者委員会

- ・状況報告
- ・その他

3. 会費他自主財源の確保

本会の運営は、会員である住民、団体等の会費でまかなわれており、様々な福祉活動を展開するための財源の確保として、会員より一般会費、賛助会費、特別会費を納めていただいています。

(1) 一般会費

本会の目的に賛同し、市内に住所を有する世帯より会費を納めていただきました。

<年額1世帯あたり400円>

	世帯数(世帯)		納入額(円)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
合計	77,656	77,157	31,062,680	30,862,900

(2) 賛助会費

本会の目的に賛同する福祉団体等の賛助会員より会費を納めていただきました。

<年額1口1,000円>

納入件数		納入口数		納入額(円)	
令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
109	110	267	273	267,000	273,000

(3) 特別会費

本会の目的に賛同する会社、団体等の特別会員より会費を納めていただきました。

<年額1口5,000円>

納入件数		納入口数		納入額(円)	
令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
55	56	76	73	380,000	369,516

4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施

(1) 広報紙「社協いせさき かがやき」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。A4カラー4ページの広報紙を、7月・11月・3月の年3回にわたって、市内全戸及び社協会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページ等の管理運営

事業計画及び報告並びに計算書類等の公開の他、各種事業等の募集及び職員求人等について市民等に広く情報発信する為に、本会ホームページ及びSNSの適切な管理運営を実施しました。

5. 総合企画関連事業の実施

(1) 伊勢崎市社会福祉大会の実施

地域福祉のより一層の推進を目指すとともに、永年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。

日 時：令和5年10月26日（木）午後2時00分から午後4時30分

場 所：人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール

【第一部 講演会】

<講演>

「このまちで最期までわたしらしく生きるために」

講師 高木 宏明 氏

（諏訪中央病院 副院長・在宅/地域ケアセンター長 医療安全管理部長）

【第二部 式典】

受賞者：134名（団体）

表彰の部 68人（前年度：186人）

感謝の部 62人、4団体（前年度：64人、4団体）

参加者：196名（前年度：256人） ※受賞者及び来賓等

6. その他の事業・業務

(1) 実習生の受け入れ

国家資格「社会福祉士」の受験資格取得のための学生を受け入れ、社会福祉協議会事業の実習を行いました。

学校名・受入人数	受入期間	日数・時間
東京福祉大学 社会福祉学部3年 1人 (前年度：1人)	令和5年5月29日～6月9日 令和5年10月3日～12月21日	10日間・80時間 23日間・184時間
高崎健康福祉大学 健康福祉学部3年 1人 (前年度：1人)	令和5年8月8日～9月22日	24日間・186時間

□地域福祉推進課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地区社協活動の活性化及び支援

各地区社協に地区社協強化費の助成を行い、活動を支援しました。

(2) 福祉関係諸団体との連絡調整

民生委員児童委員連絡協議会、区長会等の諸団体と協力し各種事業に取り組みました。

2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

(1) 我が事・丸ごとの地域づくりを推進

地域共生社会の実現に向けて、地域や各団体等での勉強会等を通じて、地域の支え合いの体制づくりについての理解を促すとともに、様々な立場の職員が地域づくりに携わり、地域との連携に努めました。

(2) 伊勢崎市との連携による第1層協議体及び第2層協議体の運営支援

伊勢崎市から生活支援体制整備業務を受託し、第1層・第2層協議体にそれぞれ生活支援コーディネーター（SC）等推進メンバーを配置し、生活支援コーディネート業務及び協議体の事務局として運営を支援しました。

令和5年度は、全圏域にて協議体が開催され、社協広報紙“かがやき”や協議体事務局だより（年2回発行）をとおして協議体関連の活動を周知しました。

①第1層協議体

- ・第8回協議体 令和5年7月26日（水）

第2層協議体の現状、課題、今後の予定及び意見交換等

- ・第9回協議体 令和6年2月20日（火）

群馬県生活支援体制整備事業アドバイザーを講師に迎え、第2層協議体の課題を共有し、今後に向けた取り組みへの助言をいただきました。

②第2層協議体

地区	協議体名	主な会場	開催回数		延参加人数	
			R 5	R 4	R 5	R 4
北	北のきずな	社会福社会館	12回	11回	143人	84人
南	南十字星	南公民館	12回	10回	70人	96人
殖蓮	殖蓮地域支え合い協議体	緋の郷	12回	12回	113人	142人
茂呂	茂呂支え合い＝絆づくり＝	茂呂公民館	12回	12回	110人	108人
三郷	みさとほほえみクラブ	三郷公民館	12回	12回	150人	156人
宮郷	地域支え合い宮郷協議体	宮郷公民館	11回	12回	128人	215人
名和	名和ささえあいネット	名和公民館	10回	11回	60人	77人
豊受	ささえ愛ネット豊受	豊受公民館	11回	11回	120人	127人
赤堀	あかぼり地域支え合い協議体	赤堀公民館	11回	9回	89人	64人
東	あずま地区協議体	高齢者生きがいセンター	11回	8回	71人	55人
境	さかい支え合い協議体	境地域福祉センター	12回	11回	151人	117人
合 計			126回	119回	1,205人	1,241人

(3) 地域支え合い活動の普及・推進

協議体と連携しての地域支え合い活動を支援し、普及・推進していくための事業を実施しました。

① 地域支え合い車両貸出事業

地域の支え合い活動を実施する団体等に対し、高齢者等が買い物や通院等で外出する際の移動支援に使用する車両を貸出すことで、高齢者等の社会参加を図り、地域の支え合い活動を推進することができました。また、団体同士での情報交換会を企画し、横の繋がりを強化できるように努めました。令和6年2月からは、各支所での貸し出しも可能になりました。

○貸出状況

年度	登録団体	利用回数	運転者数	支援者数	対象者数	利用時間	走行距離
R 5	4団体	68回	69人	66人	134人	167時間	1,355km
R 4	4団体	53回	53人	48人	89人	134時間	1,102 km

・地域支え合い車両運転者等安全運転講習会 令和6年3月1日(金)

移動支援活動団体関係者を対象に、「事故防止の考え方」について学習しました。

○参加状況

年度	参加団体数	参加者数
R 5	4団体	17人
R 4	4団体	12人

②地域交流・見守り活動支援事業（地域交流の促進と見守り活動の普及及び地域ふれあいサロン・子育てサロン等事業への支援）

- ・地域交流の促進と見守り活動の普及（見守り活動支援事業）

伊勢崎市ふれあいの居場所づくり事業の補助金交付を受けて運営している「ふれあいの居場所」に対し、見守り活動を促進するための助成事業を実施しました。

- ・地域ふれあいサロン支援事業

従来からのサロン活動（東）を支援することを目的として助成しました。

○助成団体数

区 分	R 5	R 4
見守り活動支援事業	82 団体	65 団体
地域ふれあいサロン支援事業	2 団体	2 団体

③地域活動支援事業（地域支え合い活動モデル事業、地域活動新設団体等への助成及び空き家等支え合い拠点づくりへの支援）

- ・地域支え合い活動モデル事業

第2層協議体と連携して、地域支え合い活動の取り組みを行う団体や地区に対し、その活動を他のモデルとなるよう支援するための事業を実施しました。

- ・地域活動新設団体等助成金

従来地域活動支援事業を拡充して、新たに地域福祉活動を開始した団体に対し活動費の一部を助成しました。

- ・空き家等支え合い拠点づくり事業

空き家や空きスペースを活用した居場所に対し、支え合い活動の拠点として必要な改修や備品購入等を支援する事業を実施しました。

○助成団体数

区 分	R 5	R 4
地域支え合い活動モデル事業	1 団体	5 団体
地域活動新設団体等助成金	0 団体	1 団体
空き家等支え合い拠点づくり事業	0 団体	0 団体

④地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

地域支え合い活動の一環として、ひとり暮らし高齢者の見守りと交流を目的とした通年での地域友愛訪問事業に取り組みました。実際の訪問は伊勢崎ボランティア協会の協力を頂き、令和5年5月から各地区の実情に応じ、本格的に活動を開始しています。

○訪問実施回数

地 区	R 5	R 4
北	1 回	0 回
南	11 回	0 回
殖 蓮	10 回	0 回
茂 呂	9 回	1 回
三 郷	12 回	3 回
宮 郷	2 回	0 回
名 和	10 回	3 回
豊 受	12 回	2 回
計	67 回	9 回

(4) 各日常生活圏域での関係機関との協働・連携強化

市地域包括支援センター、各圏域の高齢者相談センター、障害者基幹相談支援センター、社会福祉施設・医療機関等、様々な関係機関との連携強化に努めました。

(5) 地域交流事業

令和6年2月19日(月)に、地域交流事業の一環として子ども食堂てんとうむしの活動説明会とお弁当の試食用無料配布を実施しました。

3. 相談事業の開催

(1) 心配ごと相談事業

毎週月曜日に社会福社会館にて相談所を開設し、市民の日常生活上の課題克服に関する相談に応じ適切な助言指導を行いました。

○相談件数

年 度	R 5	R 4
開催日数	46 日	82 日
相談件数	83 件	66 件

○相談状況

(件)

	解 決		再 来		民生委員		他機関		その他		計	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
年 度												
生 計	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	2	2
年 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅	2	3	0	0	0	0	1	1	1	0	4	4
家 族	22	16	7	0	1	1	4	4	10	2	44	23
結 婚	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
離 婚	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
健康・保健・衛生	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5	0
医 療	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
人権・法律	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
財 産	1	1	0	0	0	0	0	4	1	0	2	5
事 故	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者（児）福祉	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
高齢者福祉	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	2
苦 情	5	3	2	1	0	0	1	0	0	0	8	4
そ の 他	7	13	1	0	0	0	2	3	0	4	10	20
合 計	41	40	12	1	1	1	15	15	14	9	83	66

(2) 結婚相談事業

毎週金曜日及び毎月第1・3日曜日、結婚の機会提供のための相談所を開設し、結婚に関する相談に応じ適切な助言と紹介業務を行いました。また、「出会いの場」の提供として、年2回の婚活パーティーを開催しました。

○登録者数

	R 5	R 4
男	92 人	87 人
女	30 人	36 人
計	122 人	123 人

○相談件数・相談状況

	R 5	R 4
開催日数	70 日	68 日
相談件数	257 件	186 件
お見合い（延べ）	28 件	20 件
交際中（延べ）	76 組	51 組
所内結婚成立	1 組	0 組

(3) 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員の配置

社会福祉法人の地域貢献事業として実施されている「群馬県ふくし総合相談支援事業」に参画し「なんでも福祉相談員」を配置して、生活や福祉に関する相談を受けました。

(4) その他必要な相談

日常業務での各種相談の対応に努めました。

4. 権利擁護体制の充実

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な利用者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス等を行うことにより、地域の中で安心した生活が送れるよう援助を行いました。

事業対象地域	伊勢崎市
--------	------

○事業状況

		R 5	R 4
相談件数	総件数	2,702 件	2,094 件
相談形態	訪問相談	0 件	0 件
	電話相談	2,671 件	2,075 件
	来所相談	31 件	19 件
	その他	0 件	0 件
相談分野	認知症高齢者	159 件	176 件
	知的障害者	599 件	270 件
	精神障害者	1,927 件	1,548 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
	その他	17 件	100 件
申請件数	総件数	12 件	11 件
契約締結審査会依頼数	審査依頼件数	0 件	0 件
支援計画策定状況	策定件数	12 件	11 件
内 訳	認知症高齢者	3 件	2 件
	知的障害者	6 件	4 件
	精神障害者	3 件	5 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件

利用契約の締結状況	契約締結件数	12件	11件
内 訳	認知症高齢者	3件	2件
	知的障害者	6件	4件
	精神障害者	3件	5件
	身体障害者	0件	0件
	寝たきりの高齢者	0件	0件
生活保護受給者数	上記利用契約のうち生活保護受給者数	3人	4人
生活支援員の登録状況	生活支援員登録者数	17人	19人
生活支援員の雇用状況	生活支援員の雇用者数(延べ人数)	17人	19人

○相談者数 (人)

年 度	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
計	159	176	599	270	1,927	1,548	17	100	2,702	2,094

○契約者数 (人)

年 度	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
新規契約者数	3	2	6	4	3	5	0	0	12	11
継続契約者数	7	16	30	28	56	59	0	0	93	103
計	10	18	36	32	59	64	0	0	105	114

○援助状況

計	延べ利用者数		援助時間数	
	R 5	R 4	R 5	R 4
	1,165人	1,213人	1,751時間	1,874時間

(2) 障害者相談支援事業及び市地域包括支援センターとの連携強化

障害者基幹相談支援センターや地域包括支援センター等からの相談に対応し、関係機関との連携強化に努めました。

(3) 成年後見制度等の相談援助

市民からの成年後見制度についての相談に対応し、概要説明や専門職団体等の紹介を行いました。

(4) 啓発・研修事業の実施・協力

伊勢崎市より成年後見利用促進事業の委託を受け、成年後見制度の利用促進を図るため、リーフレットを作成の上関係機関へ配布し、それに伴う問合せの対応を行いました。

また、福祉分野や精神保健分野等の支援者の専門性を高めるため、成年後見制度及び日常生活自立支援事業の概要をテーマに研修会を実施しました。

(5) 関係機関連絡会議等の開催

関係機関とは随時連携を図りましたが連絡会議は特に行われませんでした。

5. 生活困窮者への支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

群馬県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業について、民生委員や関係機関の協力を得ながら、伊勢崎市における相談窓口の役割を担いました。

令和2年から続いた「新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した世帯に対する特例貸付」は令和4年9月30日を以って受付が終了し、令和5年1月から段階的に償還が始まりました。

○生活福祉資金貸付申請状況

(円)

資 金 種 類			件 数		金 額	
			R5	R4	R5	R4
生 活 福 祉 資 金	総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
		生活支援費 (*特例貸付)	0	258	0	125,460,000
		生活支援費 (*特例延長貸付)	0	0	0	0
		生活支援費 (*特例再貸付)	0	0	0	0
		住宅入居費	0	0	0	0
		一時生活再建費	0	0	0	0
		計	0	258	0	125,460,000
	福祉資金	福祉費	0	2	0	169,000
		緊急小口資金	0	1	0	100,000
		緊急小口資金 (*特例貸付)	0	253	0	47,720,000
		計	0	256	0	47,989,000
	教育支援資金	教育支援費	4	3	2,380,000	1,520,000
		就学支度費	6	3	2,592,000	1,426,000
		計	10	6	4,972,000	2,946,000

不動産担保型 生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	1	0	660,000
	計	0	1	0	660,000
合 計		0	521	0	177,055,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
総 合 計		10	521	4,972,000	177,055,000

(2) 生活一時資金貸付事業

市内に居住する低所得世帯で生活困難におちいった世帯に対し、一時的に必要な生活資金を貸付けするとともに、償還に対する援助指導を行い、世帯の安定を図り生活の向上に向けた支援を行うことができました。

○生活一時資金貸付・償還状況

(円)

年度	申請件数		貸付決定件数		貸付金額		償還件数		償還金額	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
計	16	16	16	16	440,000	416,000	14	21	385,000	356,000

年度末貸付原資残高 771,246 円

(3) 高額療養費つなぎ資金貸付事業

国民健康保険法に基づく高額療養費が適用され、入院等で高額となった医療費の支払いが困難な世帯に対し資金を貸付けることにより、医療機関への支払が可能となり、療養費を心配することなく治療を行うことができ、生活の安定を図ることができました。

○高額療養費貸付状況

(円)

年度	申請件数		決定件数		貸付金額	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
計	13	34	13	34	2,946,472	10,568,023

(4) 生活困窮者自立支援事業への協力

市が実施する生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議に出席し、支援プラン作成に協力しました。

- ・支援調整会議開催回数 12回（前年度：12回）

6. 社会参加・生活支援充実

(1) 意思疎通支援事業

伊勢崎市からの委託を受け、市内在住の聴覚障害者の需要に応じた事業（手話通訳者設置事業・手話通訳者派遣事業）を実施することにより意思疎通の保障を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

①手話通訳者設置事業

緊急時の通訳対応や、団体活動の連絡、生活上の情報提供などが増加となりました。

- ・手話通訳者設置場所 伊勢崎市社会福祉協議会：地域福祉推進課
伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
- ・手話通訳活動件数 1, 107件（前年度：1, 107件）

○手話通訳活動別件数 (件)

年度	通 訳	電話通訳	連絡打合せ	相 談	その他	依頼件数
R 5	229	62	590	43	183	1,107
R 4	231	56	546	44	230	1,107

○手話通訳内容別件数 (件)

年度	公的機関	医療機関	教育・保育	職業・資格	大会・会議 ・講演会	団体活動	その他	合 計
R 5	54	234	34	41	7	142	595	1,107
R 4	43	232	21	83	3	140	585	1,107

②手話通訳者派遣事業

高齢化の影響で、病院や介護保険サービス利用者の通訳が増加しています。

平日午前中の通訳が集中することもあり、登録手話通訳者が見つからない場合は設置手話通訳者が対応する時もあります。

- ・市登録手話通訳者 29人（前年度：27人）
【活動可能通訳者25人（前年度：23人）】
- ・派遣件数 597件（前年度：583件）
- ・派遣人数 626人（前年度：637人）

※大会、会議、講演会など2時間を超える内容等の派遣は、複数派遣しています。

※要約筆記者派遣事業については、市で実施しました。

7. 関係団体等への支援

(1) 関係団体との連携強化

関係団体等との連携に努めました。

(2) 関係団体への育成援助及び助成

①伊勢崎市老人クラブ連合会

伊勢崎市老人クラブ連合会の事務局として、総会・役員会・各専門部会等の会議を開催しました。グラウンドゴルフ大会、スマイルボウリング大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、芸能大会等の事業規模を縮小し、実施しました。また、各支所においても各地区老人クラブの事業等を支援しました。

- ・会長 大貫 森次
- ・会員数 8, 069人 (前年度：8, 452人)
- ・総会 令和5年5月12日 (金)
- ・役員会・専門部会等開催 24回 (前年度：23回)

②一般財団法人群馬県遺族の会伊勢崎支部

遺族の会伊勢崎支部の事務局として、総会・役員会等の会議を開催し、国・県・市戦没者追悼式に参列。靖国神社・県護国神社参拝等の事業を実施するとともに、県遺族の会主催の海外戦跡慰霊巡拝、沖縄「群馬の塔」慰霊参拝事業への参加等を支援しました。

また、各支所においても各地区の遺族会への会議・事業等を支援しました。

- ・支部長 井上 清行
- ・会員数 414人 (前年度：485人)
- ・総会 令和5年5月18日 (木) ※書面審議
- ・役員会等開催 3回 (前年度：3回)

③伊勢崎市母子会

離婚や死別などで配偶者をなくした母子世帯 (父子世帯) の自立支援と会員相互の親睦を深めるために設立された団体であり、ふれあい交流事業 (若年・寡婦) の実施、県・市各種大会への参加等を支援しています。

- ・会長 小此木 安代
- ・会員数 39人 (前年度：30人)
- ・総会 令和5年4月14日 (金) ※書面審議
- ・役員会議等開催 6回 (前年度：6回)

④伊勢崎保護区保護司会

罪を犯した人が社会復帰するための手助けをする、法務省から委嘱を受け結成された団体であり、第73回社会を明るくする運動事業の積極的推進、自主研修会の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会長 関口 芳一
- ・会員数 75人 (前年度：74人)
- ・総会 令和5年5月22日 (月)
- ・役員会議等開催 5回 (前年度：4回)

⑤伊勢崎地区更生保護女性会

女性としての立場から更生保護活動に協力するボランティア団体であり、全国及び県更生保護女性連盟に関係する各大会・研修会への出席・事業協力等を支援しました。

- ・会 長 山下 美津子
- ・会員数 405人（前年度：412人）
- ・総 会 令和5年5月11日（木）
- ・役員会議等開催 20回（前年度：16回）

⑥更生保護サポートセンター伊勢崎の運営協力

職業支援センターいせさき（宮子町）内に設置したセンターに7人の企画調整保護司が交代で常駐し、対象者との面接等に利用した他、主任保護観察官の定期駐在や、保護司会役員会等の会場としても活用しました。

⑦伊勢崎ボランティア協会

伊勢崎ボランティア協会の事務局として、総会・役員会等の会議を開催するとともに、地域福祉を推進するための様々な活動を支援しました。

- ・会 長 久保 ひろ子
- ・会員数 607人（前年度：656人）
- ・総 会 令和5年5月26日（金）
- ・役員会議等開催 12回（前年度：12回）

⑧団体等助成金事業

伊勢崎市内に活動拠点を置く当事者団体等に対し、活動費を助成しました。

○助成団体数

区 分	R 5	R 4
当事者団体、援護団体、福祉活動団体	10 団体	10 団体
地区社協	11 団体	11 団体

⑨ボランティア団体等への助成

伊勢崎市内に活動拠点を置くふくしボランティア団体等に対し、活動費を助成しました。

○助成団体数

区 分	R 5	R 4
ボランティア団体	18 団体	16 団体

8. 各支所との連絡調整

- (1) 赤堀支所に係る事業の連絡調整
- (2) あずま支所に係る事業の連絡調整
- (3) 境支所に係る事業の連絡調整

9. 共同募金会への協力

群馬県共同募金会が定める伊勢崎市共同募金委員会として、地域福祉と民間の社会福祉事業のための計画募金である「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を、各行政区の区長はじめ、民生委員、ボランティア等関係団体の協力を得て実施するとともに、地域配分に係る申請受付・審査・配分業務を実施しました。

また、災害時の対応として、火災にあわれた世帯に対して見舞金の贈呈を行ったほか、災害義援金の受付を実施しました。

- ・会長 中西 保
- ・運営委員会 3回
- ・募金委員会 2回
- ・運営委員・募金委員合同会議 1回

10. 戦没者等追悼式の執行

伊勢崎市から委託を受け、令和5年11月10日（金）メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（文化会館）大ホールを会場に、遺族並びに地域福祉を担う関係者が参列し、伊勢崎市戦没者等追悼式を行いました。

黙とう、追悼の辞、献花、小学生による「平和への想い」作文朗読等の式典をしめやかに執り行い、参列者一同が戦没者等諸霊に対し感謝と平和への祈りをささげ、平和な郷土を築くことを誓い、安らかなご冥福を祈念しました。

また、大ホールロビーには、「平和への想い」をテーマにした小学生の絵画を展示しました。

- ・参列者数210人（前年度：207人）

11. その他の地域福祉推進

- (1) 社会を明るくする運動への協力

推進委員会の事務局として、広報資材の作成・配布や作文コンテストへの協力等を行いました。

- ・令和5年6月15日（木） 伊勢崎佐波推進委員会及び実行委員会
- ・令和5年7月10日（月） 伊勢崎佐波推進大会

- (2) その他必要な事業

地域福祉の推進に必要な事業を実施しました。

◇ ボランティア・市民活動センター

(1) ボランティア活動に関する相談・斡旋（コーディネート）

- ・ボランティア活動相談件数 43件（前年度：88件）
- ・ボランティア登録

個人 963人（前年度：857人）

団体 144団体 8,008人（前年度：137団体 8,148人）

計 8,971人（前年度：9,005人）

(2) ボランティアの養成講座開催・活動支援

- ・チェアヨガ講座

いすに座ってヨガを行うことにより、初心者や高齢者の方でも安全にヨガの効果を得られるプログラムを体験する講座を開催しました。

令和5年6月29日（木）・6月30日（金） 計60人参加

(3) 災害ボランティア体制整備

①伊勢崎市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル説明会の開催

本会職員及び伊勢崎青年会議所役員を対象として、令和5年3月に策定した伊勢崎市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの説明会を実施しました。

令和5年10月23日（月）・10月27日（金）

本会職員69人 伊勢崎青年会議所7人 合計76人参加

②災害ボランティアセンター設置時における運営ボランティア登録者募集

災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターの運営を行うためのボランティアとして登録者を募集しました。

- ・登録者数：55人（前年度：54人登録）

(4) 市民ボランティアフェスティバルの開催（市と共催）

令和6年2月4日（日）、緋の郷を会場に第19回市民ボランティアフェスティバルを開催しました。市内のボランティア団体がステージ発表、活動体験、ブース展示、バザーに分かれて日頃の成果の発表や市民との交流等を行いました。

- ・36団体 一般来場者含め約1,400人参加

（前回：34団体 一般来場者含め約1,200人参加）

(5) ボランティア・市民活動団体情報交換会の開催（市と共催）

令和5年12月16日（土）、緋の郷を会場に「元気、いきいき繋ごう」をテーマに各種団体が参加し、Gコミュニティ及びNPO法人伊勢崎西部スポーツクラブの団体代表による講演と参加者による情報交換を実施しました。

- ・4団体 30人参加（前年度：13団体 44人参加）

(6) 福祉教育の推進事業

社会福祉協力校を1校指定し活動を支援するとともに、総合学習における車いす・高齢者疑似体験等の体験学習を各学校等において実施し福祉教育を支援しました。

①社会福祉協力校の指定

学童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉の関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるため、市内の小・中学校・高校を社会福祉協力校として指定、活動費の助成を行いました。

※令和5年度の指定校：茂呂小学校（前年度指定校：坂東小学校）

②総合学習への協力（福祉体験教室への支援）

市内の小学校から依頼を受け総合学習等の時間に車いす・高齢者疑似体験等の福祉教育を福祉教育サポーターと共に支援しました。

○福祉体験学習実施状況（学校別）

地域	学校名	学年	クラス	人数	月別	内 容
伊勢崎	名和小学校	4	2	74	6月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	殖蓮第二小学校	4	2	64	7月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
				63	3月	高齢者疑似体験
	北第二小学校	4	2	44	9月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	茂呂小学校	4	4	124	11月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	三郷小学校	4	4	113	12月	車いす体験
	宮郷小学校	5	4	157	1月	車いす体験
	坂東小学校	4	2	70	2月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
赤堀	赤堀東小学校	4	2	55	6月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	赤堀小学校	4	3	84	6月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	赤堀南小学校	4	2	69	7月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
あずま	あずま北小学校	4	3	83	11月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	あずま小学校	4	3	112	11月	車いす体験 ブラインドウォーク体験

境	境剛志小学校	4	2	46	11月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
合計	13校 (延べ14校)		35	1,158		

(前年度：12校(延べ13校) 31クラス 1,035人)

(7) 介護支援ボランティア事業

65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人が、介護支援ボランティア活動を行うことを通じて、高齢者の社会参加・社会貢献活動の奨励、介護予防と生きがいの促進をするとともに、ボランティアが地域の支え手として活動できる地域社会づくりを推進しました。

・基本研修の実施

介護支援ボランティアについての概要説明、活動内容等について

計5回実施(前年度：6回実施)

7月20日、9月14日、11月21日、1月22日、3月14日

・ボランティア活動対象施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所 計58施設(前年度：58施設)

・活動実績

登録人数 520人(内、新規登録人数 17人)

(前年度：503人(内、新規登録人数 17人))

延べ活動人数 276人(前年度：151人)

延べ活動時間 1,249時間(前年度：181時間)

○活動内容内訳

(時間)

活動内容	R5	R4
レクリエーション等の指導・参加支援	195	13
お茶出し・食堂内の配膳・片付けなどの補助	402	60
喫茶などの運営補助	18	6
散歩・外出・管内移動の補助	0	0
行事等の手伝い	0	0
傾聴・話し相手等	456	23
場内の整備(管内美化・植栽の手入れ等)	50	68
趣味活動等の指導	32	3
その他(施設職員と行う補助的活動)	96	8
計	1,249	181

(8) ままサロン“まま”のほっとステーション事業

子育てに悩みがちな母親がほっとできる空間をつくることを目的に、ボランティアの協力を得てサロンを開催しました。

- ・社会福社会館ボランティアルーム（一部児童センターふれあいルーム）で毎月第3月曜日に開催
- ・12回開催 参加者：137人（前年度：12回 61人）

(9) ボランティアネットワーク事業

登録制のボランティアメールを活用し、伊勢崎市内の福祉施設やボランティア団体などのボランティア募集・福祉関連イベント情報を配信しました。

- ・メール登録施設：59施設（前年度：58施設）
- ・メール登録ボランティア団体：112団体（前年度：84団体）
- ・メール登録個人ボランティア：402人（前年度：338人）

(10) 認知症カフェ推進事業

認知症の人とご家族や、認知症について関心がある人など、誰でも立ち寄れ、ほっと過ごせる場づくりのため、ボランティアとの協働によりカフェ事業を推進しました。

3カ所計36回開催（前年度：19回開催）

- ・オレンジカフェよりみち
会場：市社会福社会館（毎月第3水曜日の午前中を基本に開催）
- ・オレンジカフェほほえみ
会場：高齢者生きがいセンター（毎月第2木曜日の午前中を基本に開催）
- ・オレンジカフェおんたけやま
会場：境地域福祉センター（毎月第2月曜日の午前中を基本に開催）

(11) 車いすの貸出事業

介護保険において自立と判定された者等に対し福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の向上を図り、利用者の外出や移乗の援助を行うことができました。

(件)

		伊勢崎	赤堀	あずま	境	計
車いす延べ利用件数	R 5	84	8	22	44	158
	R 4	78	5	29	28	140

(12) 福祉車両の貸出事業

身体障害者等が外出する際の車いす用低床車を家族等に貸出すことで、外出を容易にし、通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図り、社会参加及びレクリエーション活動等への参加に対する交通手段を確保することができました。

○貸出状況

年 度	延べ利用者数		貸出日数		走行距離	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
ボランティアセンター	105 件	82 件	61 泊 167 日	20 泊 100 日	3,287 km	2,715 km
あずま支所	73 件	75 件	70 泊 143 日	61 泊 136 日	3,062 km	3,158 km
境支所	100 件	70 件	42 泊 142 日	37 泊 106 日	3,639 km	3,028 km
合 計	278 件	227 件	173 泊 452 日	118 泊 342 日	9,988 km	8,901 km

○使用車両

	使用車両
ボランティアセンター	ダイハツタント（令和4年7月から社協でリース）
あずま支所	トヨタシエンタウエルキャブ（平成28年登録社協保有車）
境支所	ダイハツタント（令和5年3月から社協でリース）

(13) フードバンク・子ども食堂などへの支援事業

フードドライブを5回（15日間）実施し、フードバンク団体や子ども食堂等に寄附された食料を分配するとともに、情報交換会等を5回実施し情報の共有を図りました。

また、市社会福祉課と連携し、生活困窮者に対する食料支援を試行的に実施しました。

◇ 障害者相談支援センター

(1) 障害者相談支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村の必須事業で、障害者の福祉に関する各般の相談に応じ、情報の提供及び福祉サービスの利用支援等を実施しました。

市から業務委託を受けた（社福）伊勢崎市愛のはぐるま会、（社福）明清会、（社福）桑の実福祉会、（社福）樫の木、（医）原会、（社福）群馬県社会福祉事業団、NPO 法人さんれんぷと共に市障害者センター内にて、伊勢崎市基幹相談支援センターとして、身体・知的・精神の三障害を対象に相談支援事業を実施しました。

(2) ピアカウンセリング事業

障害を持つ相談員（ピアカウンセラー）による障害当事者同士の相談支援（ピアカウンセリング）を実施しました。

○相談支援の実施状況（社会福祉協議会実施分＝主に身体障害を担当しました。）

	区 分	R 5	R 4
年間延べ支援者数	身体障害者	368 人	277 人
	身体障害児	14 人	15 人
	重症心身障害者	26 人	16 人
	重症心身障害児	6 人	4 人
	知的障害者	39 人	69 人
	知的障害児	11 人	10 人
	精神障害者	15 人	14 人
	精神障害児	2 人	0 人
	発達障害者	32 人	4 人
	高次脳機能障害者	23 人	4 人
	その他（者）	112 人	74 人
	その他（児）	9 人	1 人
	合 計	657 人 (実支援者数 500 人)	488 人 (実支援者数 423 人)
年間支援回数	訪問	110 回	91 回
	来所相談	63 回	63 回
	同行	3 回	1 回
	電話相談	106 回	55 回
	電子メール	0 回	2 回
	個別支援会議	7 回	4 回
	関係機関	283 回	258 回
	その他	1 回	0 回
	合 計	573 回	474 回

支援内訳 (うちピア カウンセリング)	福祉サービス利用	449件 (16件)	354件 (12件)
	障害・病状の理解	4件 (0件)	1件 (0件)
	健康・医療	42件 (12件)	24件 (3件)
	不安の解消・安定	115件 (16件)	76件 (7件)
	保育・教育	1件 (0件)	0件 (0件)
	家族・人間関係	64件 (22件)	31件 (17件)
	家計・経済	7件 (0件)	12件 (2件)
	生活技術	16件 (6件)	3件 (2件)
	就労	16件 (0件)	31件 (0件)
	社会参加・余暇支援	19件 (16件)	13件 (13件)
	権利擁護	3件 (0件)	1件 (1件)
	その他	78件 (10件)	50件 (13件)
	合計	814件 (98件)	596件 (70件)

(3) 日常生活自立支援事業との連携強化

日常生活自立支援事業と連携して障害を持つ方の権利擁護に関する相談を実施しました。

◇赤堀支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

一人暮らし高齢者等で見守りが必要と思われる方に対し、ボランティアが毎月1回訪問し、安否確認や話し相手等の見守り活動を行いました。住民参加による地域福祉ネットワークを形成することができ、対象者の支援に役立ちました。

訪問人数：延べ 1, 177人（前年度：1, 278人）

(2) 地域ふれあいサロン支援事業

地域の中で孤独になる人をつくらないということを目的として、小地域を単位としたふれあいの場を設けるサロン活動の支援を行いました。

10地区で実施 延べ参加者：306人（前年度：中止）

(3) ゆうあい昼食会事業

日頃、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象とした昼食会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、劇団による寸劇と舞踊ショーを楽しみながら、お互いの親睦を深める交流会として実施しました。また、地域交流の一環として、地域住民も参加して交流を行いました。

実施日：令和5年9月26日（火）

会場：赤堀公民館

参加人数：81名（前年度：中止）

(4) 福祉体験教室への支援

総合学習における車いす体験やブラインドウォーク体験を各小学校において実施し、福祉教育を支援しました。

・令和5年6月20日（火）赤堀東小学校4年生（2クラス）55人（前年度：64人）

・令和5年6月26日（月）赤堀小学校4年生（3クラス）84人（前年度：102人）

・令和5年7月7日（金）赤堀南小学校4年生（2クラス）69人（前年度：87人）

(5) 伊勢崎市交流の場事業

伊勢崎市より交流の場事業実施業務を受託し、交流の場の管理及び健康に関する講座等を開催して、高齢者がはつらつと活躍する環境を整備しました。

年間講座開催数：34回

年間利用者人数：延べ2,093人

(6) 赤堀地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

赤堀地区の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・あかぼり地域支え合い協議体 毎月第2水曜日 赤堀公民館で開催

(7) 地域交流事業

ゆうあい交流会に赤堀地区住民の参加を得て、寸劇や舞踊ショーを楽しみながら交流を深めてもらう交流会を実施しました。

2. 赤堀地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

赤堀地区社会福祉協議会の事務局として、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため役員会議を開催し、赤堀地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回役員会議 令和5年5月19日（金）
- ・第2回役員会議 令和5年8月18日（金）
- ・第3回役員会議 令和5年11月13日（月）

(2) 事業の推進

- ・赤堀地区金婚記念式典（令和5年11月18日（土）：赤堀公民館）
- ・ゆうあい昼食会事業（令和5年9月26日（火）：赤堀公民館）への協力
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔令和5年10月25日（水）〕への協力

◇あずま支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、月1回自宅に非常食等をお届けする友愛訪問事業を実施しました。あずま地区民生委員児童委員協議会とあずまボランティアの会に1か月交代で協力していただき、安否確認や会話をとおして見守り活動を推進しました。

- ・月平均利用者 35人（前年度：39人）
- ・延べ利用人数 419人（前年度：466人）

(2) 地域ふれあいサロン支援事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、あずま地区民生委員児童委員協議会の協力により年1回、あずまボランティアの会の協力により年1回の計2回実施しました。

伊勢崎市ADL介護予防ボランティアの会によるADL体操の実施とボランティア団体によるフラダンスの実演の後、お弁当とお茶を配付して閉会となりました。

- ・実施日 令和5年10月15日（日）、10月22日（日）
- ・会場 みやまセンター 大広間
- ・延べ参加者 174人（前年度：163人）

(3) 地域子育てサロン事業

子育て中の親子が気軽に参加し情報交換や遊びなどを通して交流を深めることで、育児を楽しみながら仲間づくりや子育ての悩み等を相談共有できるよう、ふれあいの場を提供しました。

- ・実施日 令和5年7月12日（水）、9月13日（水）、11月8日（水）、令和6年1月17日（水）、3月13日（水）（全5回）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・対象 未就学の子ども、父母
- ・延べ参加者 109人（前年度：中止）
- ・内容 親子ふれあい遊び、アロマハンドクリーム作り等
- ・協力 あずま地区民生委員児童委員協議会、きく児童館職員、さざんか児童館職員、あやめ児童館職員、ボランティア等

(4) 高齢者いきいき講座

高齢者の介護予防及び日常生活上の自立を目的に、生きがい・健康増進に関する健康講座、小物作りなどの講座を開催しました。また、第1回目では、あずま地区地域ふくし交流事業の作品展も見学しました。

- ・実施日 令和5年9月21日(木)、10月19日(木)、11月16日(木)、12月21日(木)(全4回)
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・延べ参加者 48人(前年度:42人)
- ・内容 健康講話、小物作り(アロマスプレー)

(5) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・令和5年11月10日(金)
あずま北小学校4年生 83人 車いす体験(前年度:64人)
- ・令和5年11月16日(木)
あずま小学校4年生 112人 車いす体験(前年度:実績なし)

(6) あずま地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

あずま地区第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・あずま地区協議体 11回、運営委員会 11回 高齢者生きがいセンターで開催

(7) 地域交流事業(あずま地区地域ふくし交流事業)

あずま事業所・みやまセンター・高齢者生きがいセンターとの共催により作品展や社協事業の紹介等を通じて、地域住民との交流を広げるとともに社協事業を周知しました。

- ・実施日 令和5年9月21日(木)～28日(木) 日曜日除く実7日間
- ・会場 みやまセンター
- ・延べ参加者 214人(前年度:237人)
- ・内容 作品展、社協事業のパネル展示、介護相談等

2. あずま地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、あずま地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回会議 令和5年5月22日(月)

(2) 事業の推進

あずま地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

- ・あずま地区金婚・ダイヤモンド婚式(式典開催、慶祝状・記念品等の贈呈、記念撮影)
(令和5年11月23日(木):あずま公民館)
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔令和5年11月14日(火)〕への協力

□境支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

境地区のひとり暮らし高齢者等を対象に、月1回ボランティアがレトルト食品等を手渡しながら安否確認・友愛訪問を行いました。

境ボランティア連絡協議会会員及び個人ボランティアの協力を得て行いました。

- ・実施日 毎月第2木曜日
- ・延べ利用人数 527人（前年度：581人）
- ・延べボランティア数 129人（前年度：249人）

(2) 筋力トレーニング講習会

市内全域の高齢者が、健康で豊かな老後を送れるよう、介護予防に効果のある筋力トレーニングの普及と地域指導者のレベルアップを図ることを目的として実施しました。

- ・実施日 第1回 令和6年1月30日（火）
第2回 令和6年3月19日（火）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・延べ参加者 162人（前年度：中止）
- ・講師 浅川康吉氏（東京都立大学教授）

(3) 障害者サロン

障害のある人が気軽にかつ自由に集い、楽しみながら情報交換や交流、仲間づくりを行う場を提供することを目的に、ボランティアの協力によりサロン活動を実施しました。

- ・実施日 毎月第1土曜日 第3金曜日（月2回実施）全24回
- ・対象 市内在住の障害者
- ・延べ参加者 497人（前年度：431人）
- ・協力団体 障害者福祉ボランティア「そよ風」、社会福祉法人やよい福祉会
社会福祉法人明清会、伊勢崎市障害者家族会連絡会「綾の会」

(4) 高齢者いきいき講座

高齢者が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、多様な内容で生きがいづくりや健康づくりを行うことを目的に開催しました。

- ・実施日 令和5年7月14日（金）、7月21日（金）、7月28日（金）
12月4日（月）、12月12日（火）、12月19日（火）
（全6回）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・延べ参加者 129人（前年度：中止）

(5) 地域子育てサロン事業

子育て中の親と子が楽しみながら仲間をつくり、互いに支えあう活動の支援を行うことを目的に事業を実施しました。

- ・実施日 偶数月の第2金曜日（全5回）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 未就学の子ども、母親
- ・延べ参加者 60人
- ・協力 境地区民生委員児童委員協議会

(6) 夏休み宿題自習室

小学生を対象に、夏休み期間仲間と一緒に学習するための場所を提供することを目的に事業を実施しました。

- ・実施日 令和5年7月27日（木）、7月28日（金）、8月2日（水）、8月3日（木）、8月4日（金）（全5回）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・延べ参加者 110人
- ・協力 元教員3名

(7) 電話でお話し相手事業

地域の人と交流の少ない高齢者等を対象に、傾聴のボランティアが電話による話し相手を行い、孤立感の解消や関係機関等への橋渡しを行いました。

- ・実施日 毎月第1～第4木曜日
- ・会場 境地域福祉センター
- ・延べ利用人数 238人（前年度：288人）
- ・協力団体 傾聴ボランティア「たんぽぽ」

(8) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・令和5年11月24日（金）
境剛志小学校4年生 46人 車いす体験、ブラインドウォーク体験
（前年度：33人）

(9) 境地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

境地区の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・境地区協議体4回 世話人会8回 境地域福祉センターで開催

(10) 地域交流事業

屋内レクリエーションスポーツとしてボッチャボールセットやスポーツガラッキー等を貸し出し、地域の方々の交流の場を設け、集いの場としていただくことにより事業充実と施設の利用拡大を図りました。

- ・令和5年 6月20日(火) 21人
- ・令和5年12月14日(木) 87人
- ・令和5年12月15日(金) 37人
- ・令和6年 2月16日(金) 38人

合 計 全4回 183人 (前年度：全3回 84人)

2. 境地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

境地区社会福祉協議会の事務局として、役員会議等を開催する他、各地域団体との連携に努め、境地区における支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回役員会議 令和5年 5月30日(火)
- ・第2回役員会議 令和5年 8月 3日(木)
- ・第3回役員会議 令和5年10月24日(火)
- ・第4回役員会議 令和6年 2月 2日(金)

(2) 事業の推進

- ・境地区金婚慶祝会(令和5年11月14日(火)：境地域福祉センター)
記念撮影と慶祝状等の贈呈を実施
- ・境地区住民福祉講座(令和5年10月7日(土)：人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター)
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔令和5年10月17日(火)～〕への協力

□在宅福祉課

1. 介護保険事業の経営

利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護度が重くなることを防止し、現状の介護状態を維持または改善することを目的に、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業、通所介護(デイサービス)事業を実施しました。

また、介護保険事業経営改善検討委員会を設置し、経営改善に係る諸課題を検討し、経営の安定を図りました。

(1) 居宅介護支援事業

ケアプランの作成、予防ケアマネジメント、介護認定調査、住宅改修等の支援を行う事業であり、伊勢崎・あずま・磯沼荘の各事業所で実施しました。

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行いました。

① 居宅介護支援事業実績

(単位：件)

区分 事業所	ケアプラン		予防マネジメント		介護認定調査		住宅改修	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
伊勢崎	1,587	1,645	354	332	190	111	9	6
あずま	1,578	1,547	606	615	265	132	5	3
磯沼荘	2,533	2,452	565	604	417	288	19	16
計	5,698	5,644	1,525	1,551	872	531	33	25

(介護認定調査受託市区町村：32市区町村)

② 利用者の要介護度 (令和6年3月31日現在)

(単位：人)

区分 事業所	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
伊勢崎	45	50	37	35	22	20	17	17	9	8	130	130
あずま	38	30	38	37	21	29	18	17	16	11	131	124
磯沼荘	61	70	56	53	45	33	38	31	14	15	214	202
計	144	150	131	125	88	82	73	65	39	34	475	456

(2) 訪問介護事業

要介護者や要支援者に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施しました。

① 利用者の要介護度（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	年度	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
男	R5	5	7	7	5	2	0	1	27
	R4	7	5	7	5	2	1	1	28
女	R5	10	17	15	16	3	2	3	66
	R4	7	16	24	14	3	3	1	68
計	R5	15	24	22	21	5	2	4	93
	R4	14	21	31	19	5	4	2	96

② 利用者の年齢階層（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	年度	69歳 以下	70歳 ～74歳	75歳 ～79歳	80歳 ～84歳	85歳 ～89歳	90歳 以上	計
男	R5	7	2	7	3	6	2	27
	R4	7	3	5	4	5	3	27
女	R5	7	5	7	11	14	22	66
	R4	6	6	10	13	18	15	68
計	R5	14	7	14	14	20	24	93
	R4	13	9	15	17	23	18	95

③ 訪問介護事業実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
実績	6,408	7,309	6,813.2	7,616.4	643	725

④ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
実績	2,809	2,538	2,779.5	2,509.0	444	415

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスA（基準緩和訪問型）実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
実績	79	70	79	70	24	24

⑥ 福祉有償運送実績

延利用回数(回)		延利用者数(人)	
R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
431	415	129	123

(3) 訪問入浴事業

家庭での入浴が困難な要介護・要支援者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の要介護度 (令和6年3月31日現在) (単位：人)

区分 性別	年度	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
男	R5	0	0	0	0	0	0	2	2
	R4	0	0	0	1	0	0	2	3
女	R5	0	0	0	0	3	4	7	14
	R4	0	0	1	1	1	7	9	19
計	R5	0	0	0	0	3	4	9	16
	R4	0	0	1	2	1	7	11	22

② 利用者の年齢階層 (令和6年3月31日現在) (単位：人)

区分 性別	年度	69歳以下	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳以上	計
男	R5	1	0	0	1	0	0	2
	R4	2	0	0	0	1	0	3
女	R5	1	1	1	3	0	8	14
	R4	2	1	1	4	2	9	19
計	R5	2	1	1	4	0	8	16
	R4	4	1	1	4	3	9	22

③ 訪問入浴事業実績

	延訪問回数(回)		延利用者数(人)		入浴台数(台)	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
実績	1,064	1,143	226	241	3	3

(4) 通所介護（デイサービス）事業

通所介護事業は、あずまデイサービスセンター、磯沼荘デイサービスセンターの2事業所で実施しています。

サービス内容は、通所介護計画に沿って、入浴介助（一般入浴または機械浴槽を使用しての入浴）、送迎サービス、食事サービス（栄養並びに利用者の身体の状態及び嗜好を考慮した食事を提供）、機能訓練（心身等の状況に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施）、その他必要な介護等を実施しました。

① あずまデイサービスセンター

医療依存の高い利用者や、認知症重度者を受け入れ共存しながら本人らしく生活が送ることができるように、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握しながら、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者にあわせたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ADLの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を密にすることで安心して利用いただけるほか、家族の介護負担の軽減にも大きな成果を挙げています。

事業名	事業内容
お花見事業	○桜の見学 令和5年3月下旬から4月頃 施設近隣や中島飛行場跡地に咲く桜の花見学を実施しました。 ○小菊の見学 令和5年10月下旬から11月中旬頃 「あかぼり小菊の里」で、車窓から菊の花見学を実施しました。
お誕生会	毎月開催 誕生会を開催し、プレゼントの贈呈や誕生日用のケーキを提供しました。
お茶会	毎月10日 和菓子と職員が点てた抹茶を提供しました。
ブルーベリー摘み体験	令和5年5月31日（水） 市内で農園業を営む方の協力により、鉢植えのブルーベリーでブルーベリー摘み体験を実施しました。また、摘み取ったブルーベリーやブルーベリーソースを使用したお菓子を提供しました。
夏祭り	令和5年8月22日（火）から8月24日（木） 夏のイベントとして射的大会を中心に実施したほか、職員手作りのたこ焼き、かき氷や蒸しじゃがバターを提供しました。
敬老会	令和5年9月20日（水） 敬老会として下記の催しを実施しました。 ・どら焼きと職員手作りの干支入り名前のキーホルダーのプレゼント ・銭太鼓の訪問演奏 ・スイーツバイキングとして、ケーキやお菓子の提供 ・あずま地区地域ふくし交流事業の作品展見学

ミニ運動会	令和5年10月17日（火）から10月20日（金） パン食い競争、玉入れ、新聞ホッケー等の競技を実施しました。
クリスマス会	令和5年12月20日（水）から12月23日（土） クリスマスプレゼントとして靴下を贈呈し、おやつにはスイーツバイキングを実施しました。
新年会	令和6年1月4日（木）から1月6日（土） カラオケ大会を開催し、飲み物でノンアルコールのビールと梅酒を提供しました。
ひな祭り	令和6年3月4日（月） ひな祭り特別メニューとしてちらし寿司やさくら餅のほか、ひなあられと甘酒を提供しました。
イベント食	○利用者様からのリクエスト 令和5年11月27日（月）、28日（火） 令和6年3月6日（水）から8日（金） リクエストが多かった焼きまんじゅうを提供しました。 ○バレンタイン 令和6年2月14日（水）から2月16日（金） 手作りのクレープを提供しました。
ボランティア慰問	令和5年8月25日（金） 元バスガイド2名によるガイドとバス車内からの映像により、バス旅小旅行体験を実施しました。 令和5年10月25日（水） 生涯学習サークルによるフラダンスを鑑賞しました。 令和6年2月17日（土） インドネシア出身の方によるインドネシア舞踊を見学したほか、おやつにはインドネシアのおやつ（ピサンゴレン）を提供し、異文化交流を実施しました。
施設見学会	令和5年9月20日（水）、10月11日（水）、10月13日（金）、10月25日（水） 利用者家族や民生委員児童委員、他事業所の介護支援専門員を対象に施設見学会と昼食の試食を実施しました。
消防訓練	令和5年9月29日（金）、令和6年3月14日（木） みやまセンター職員と合同で実施しました。

② 磯沼荘デイサービスセンター

感染症拡大防止対策を講じ関係機関と十分連携を図り、事業を実施いたしました。
要支援者の受け入れを行うとともに、医療依存の高い利用者や、認知症重度者を受け入れ共存しながら本人らしく生活を送ることができるように、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握しながら、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者にあわせたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ADLの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を図ることで、安心して利用していただくとともに、家族の介護負担も大きく軽減する事が出来ました。

事業名	事業内容
お花見事業	<p>○桜の花見学 令和5年3月下旬から4月頃 施設内や近隣の磯沼に咲く桜の花を見学しました。</p> <p>○蓮の花見学 令和5年6月中旬頃 送迎時間を利用して車中から蓮の花を見学しました。</p> <p>○小菊の里の見学 令和5年10月下旬から11月中旬頃 運動を兼ねて施設から徒歩で「あかぼり小菊の里」へ見学に行きました。</p>
お誕生日会	<p>毎月開催 誕生日会を開催し、プレゼントの贈呈や誕生日用ケーキを提供しました。</p>
七夕イベント	<p>令和5年7月7日（金）、7月8日（土） 七夕飾りの作成の機会や七夕特別メニューの昼食を提供したほか、レクリエーションとして七夕にちなんだ話やクイズ、合唱などを実施しました。</p>
夏まつり	<p>令和5年8月2日（水）、8月10日（木）、8月15日（火） 炭坑節や花笠音頭、八木節などを全員で踊る機会を提供したほか、金魚すくいとらくがきせんべいを出店風にして実施しました。</p>
職場体験	<p>令和5年9月5日（火）から7日（木） 職場体験として赤堀中学校の2年生10名を受け入れ、生徒への介護に対する理解促進を図るとともに、利用者と生徒相互の世代間交流の機会を提供しました。</p>
敬老会	<p>令和5年9月11日（月）、11月12日（日） 敬老会として下記の催しを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員手作りのおたより帳ケースのプレゼント ・昼食に特別メニュー（お祝い御膳）を提供 ・お茶会を開催し、職員による抹茶と和菓子の提供 ・職員による安来節（どじょうすくい）の披露

マーチング演奏会	令和5年10月3日(火) 磯沼公園駐車場にて、近隣施設の利用者や地域住民を交えて赤堀小学校の児童によるマーチング演奏会を開催しました。
運動会	令和5年10月19日(木)、10月20日(金) パン食い競争、玉入れ、職員対抗風船割りリレー等の競技を実施しました。
磯沼荘祭り	令和5年11月14日(火)、11月15日(水) 磯沼荘祭りとして下記の催しを実施しました。 ・職員手作りのボックスティッシュカバーのプレゼント ・ボランティア団体等によるフラダンスや銭太鼓演奏の鑑賞 ・ケーキやクレープなどのおやつバイキング ・お楽しみ抽選会
赤堀中学校吹奏楽部演奏会	令和5年10月28日(土) 磯沼荘駐車場にて、近隣施設の利用者や地域住民を交えて赤堀中学校吹奏楽部による演奏会を開催しました。
クリスマス会	令和5年12月21日(木)、12月22日(金) ハンドベルの演奏と演奏に併せたクリスマスソングの合唱を実施したほか、おやつにクリスマスケーキを提供しました。 またクリスマスプレゼントとして男性にはネックウォーマー、女性には靴下を贈呈しました。
磯沼荘紅白歌合戦	令和5年12月27日(水)、12月28日(木) 紅白の組に分かれてカラオケ大会を実施しました。
節分の豆まき	令和6年2月1日(木)、2月2日(金) 職員が鬼に仮装し、新聞紙をこぶし大の大きさに丸めたものを豆に見立てて豆まきを実施し、おやつには節分豆を煎じた豆茶を提供しました。
ADL体操教室	令和5年6月23日(金)、令和6年1月12日(金) ADL体操の講師を招いて体操教室を実施しました。
ひな祭り	令和6年3月4日(月)、3月5日(火) ひな祭り特別メニューとしてちらし寿司や桜餅を提供し、レクリエーションの時間にはひな祭りクイズを実施しました。
避難訓練 (火災訓練)	令和5年9月26日(火)、令和6年3月21日(木) 磯沼荘に隣接する「社会福祉法人伊勢崎市愛のはぐるま会伊勢崎市あかねの館福祉作業所」の職員及び利用者と同合同で実施しました。

③ 利用者の要介護度（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区分 事業所	性別	年度	要支援		要介護					計
			1	2	1	2	3	4	5	
あずま	男	R5	2	2	6	6	2	1	1	20
		R4	1	2	5	4	0	2	0	14
	女	R5	2	2	5	5	6	3	4	27
		R4	1	2	4	7	9	3	0	26
磯沼荘	男	R5	0	1	5	2	0	1	0	9
		R4	1	0	4	2	0	1	0	8
	女	R5	0	4	7	5	1	2	0	19
		R4	1	5	12	9	1	1	0	29
計	男	R5	2	3	11	8	2	2	1	29
		R4	2	2	9	6	0	3	0	22
	女	R5	2	6	12	10	7	5	0	42
		R4	2	7	16	16	10	4	0	55
総計		R5	4	9	23	18	9	7	1	71
		R4	4	9	25	22	10	7	0	77

④ 利用者の年齢階層（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区分 事業所	性別	69歳以下		70歳 ～74歳		75歳 ～79歳		80歳 ～84歳		85歳 ～89歳		90歳以上		計	
		R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
あずま	男	6	5	2	1	0	0	9	4	0	2	3	2	20	14
	女	1	0	1	1	3	3	9	6	5	7	8	9	27	26
磯沼荘	男	1	0	0	0	2	2	0	1	1	1	5	4	9	8
	女	0	0	0	1	1	3	2	3	9	6	7	16	19	29
計	男	7	5	2	1	2	2	9	5	1	3	8	6	29	22
	女	1	0	1	2	4	6	11	9	14	13	15	25	46	54
総計		8	5	3	3	6	8	20	14	15	16	23	31	75	77

⑤ 通所介護事業実績

区分 事業所	年度	年間 営業日	実利用 人数	延利用 人数	1日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R5	308日	474人	5,865人	18.9人	8.1人	9.9人
	R4	305日	409人	5,610人	18.3人	7.3人	9.1人
磯沼荘	R5	305日	354人	3,302人	10.7人	1.4人	8.2人
	R4	306日	395人	4,189人	13.7人	1.3人	10.7人
計	R5	613日	828人	9,167人	29.6人	9.5人	18.1人
	R4	611日	804人	9,799人	32.0人	8.6人	19.8人

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス実績

区分 事業所	年度	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R5	308日	85人	502人	1.6人	0.1人	1.6人
	R4	263日	75人	509人	1.9人	0.0人	1.7人
磯沼荘	R5	286日	77人	591人	2.0人	0.1人	1.9人
	R4	305日	112人	813人	2.7人	0.0人	2.4人
計	R5	594日	162人	1,093人	3.6人	0.2人	3.5人
	R4	568日	187人	1,322人	4.6人	0.0人	4.1人

2. 障害者福祉サービス事業の実施

(1) 障害者総合支援事業

障害者総合支援法に基づき、支給決定（または認定）を受けた障害者（児）に対し、居宅において、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯、掃除等の家事支援並びに生活等に関する相談助言、その他の生活全般にわたる援助を行うものであり、伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の障害の区分（令和6年3月31日現在）（単位：人）

性別	区分 年度	身 体	重 度	知 的	精 神	児 童	計
男	R5	10	0	1	10	0	21
	R4	10	0	0	11	0	21
女	R5	5	0	3	20	1	29
	R4	4	0	2	18	0	24
計	R5	15	0	4	30	1	50
	R4	14	0	2	29	0	45

② 利用者の年齢階層（障害者）（令和6年3月31日現在）（単位：人）

性別	区分 年度	16歳～29歳	30歳～49歳	50歳～64歳	65歳以上	計
男	R5	1	4	9	7	21
	R4	2	1	15	3	21
女	R5	3	14	10	2	29
	R4	2	10	10	2	24
計	R5	4	18	19	9	50
	R4	4	11	25	5	45

③ 障害福祉サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R5	R4	R5	R4	R5	R4
4,115回	4,850回	5,002.8時間	5,840.1時間	552人	587人

(2) 地域生活支援事業

① 移動支援サービス

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援しました。

○移動支援サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R5	R4	R5	R4	R5	R4
310 回	420 回	270.5 時間	356.0 時間	107 人	121 人

② 訪問入浴サービス

居宅での入浴が困難な障害者等に、身体の清潔の保持のため、介護保険による訪問入浴と同様のサービスを提供しました。

○訪問入浴サービス提供実績

延訪問回数		延利用者数	
R5 年度	R4 年度	R5 年度	R4 年度
407 回	416 回	47 人	48 人

3. その他在宅福祉サービスへの対応等

(1) 研修支援事業（資格取得のための実習生受け入れ）

介護支援専門員実務研修受講試験の合格者の実習については、介護職等の資格を取得するために必要な実習の受け入れは、感染症予防を徹底して行い、介護事業に必要なマンパワーを育成することに寄与しました。

また、教員免許取得希望者に対する社会福祉施設等における介護等体験を受け入れました。

① 介護支援専門員実務研修実習

事業所	依頼者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	群馬県社会福祉協議会	R5	1 人	3 日	21 時間
		R4	0 人	0 日	0 時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R5	2 人	6 日	36 時間
		R4	0 人	0 日	0 時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R5	1 人	3 日	21 時間
		R4	0 人	0 日	0 時間
合 計		R5	4 人	12 日	78 時間
		R4	0 人	0 日	0 時間

② 介護実習同行訪問

事業所	依頼者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	前橋医療福祉専門学校	R5	0人	0日	0時間
		R4	0人	0日	0時間
	太田医療技術専門学校	R5	0人	0日	0時間
		R4	0人	0日	0時間
合計		R5	0人	0日	0時間
		R4	0人	0日	0時間

③ 教員免許取得希望者に対する介護等体験（通所介護）

事業所	依頼者	年度	実人数	実日数	延時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R5	0人	0日	0時間
		R4	0人	0日	0時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R5	1人	5日	30時間
		R4	4人	20日	120時間
合計		R5	1人	5日	30時間
		R4	4人	20日	120時間

(2) 地域交流事業

① 伊勢崎事業所

市内のイベントに参加し、各種体験コーナーを設置しました。

○行事名：「介護予防フェスタ2023」

実施日：令和5年10月1日（日）

内容：高齢者疑似体験を実施しました。

○行事名：「市民ボランティアフェスティバル」

実施日：令和6年2月4日（日）

内容：訪問入浴車の展示及び足浴体験を実施しました。

② あずま事業所

「あずま地区地域ふくし交流事業」での作品展に出品する機会を設けるとともに、地域住民との交流を図る機会を設けました。

令和5年9月21日（木）から9月28日（木）

③ 磯沼荘事業所

地域の住民の方々の介護予防と交流を目的に、介護予防教室を2回開催しました。

令和5年12月10日（日）ADL体操・お正月飾り作り

令和6年3月10日（日）ADL体操・ウェットティッシュケース作り

□施設管理課

1. 指定管理施設の管理運営

(1) ふくしプラザ

高齢者及び障害者の健康の増進及び生涯学習の振興を図るとともに、社会参加を促進するため各種事業を実施しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

使用場所	浴室・交流室、 トレーニングルーム		会議室、 セミナールーム	多目的ホール	ワークショップ その他	合 計
	無料 (うち障害者)	有料				
令和5年度	16,811 (384)	26	7,914	1,069	17,355	43,175
令和4年度	8,768 (420)	6	2,939	147	6,237	18,097

・年間開館日数 291日(前年度292日)

・開館時間 午前9時～午後10時

II 事業実施状況

利用者の増加を図るために実施した事業内容は次のとおりです。

事業名	内容
第33回 健やか学級	月曜日(日程表による) 午前9時30分～11時30分 5月15日～3月11日までの実施 実施回数19回、参加者延べ475名 介護予防・暮らしの中の法律等各教室講座や運動の実施、生きがい、健康、仲間づくりの講座を実施しました。
レクリエーション 軽スポーツ教室	第1～第4木曜日 午後1時30分～3時30分 6月1日～3月7日までの実施 実施回数17回、参加者延べ342名 高齢者の健康維持と地域の方々の交流を目的に輪投げを実施しました。

高齢者悩みごと相談	<p>毎週木曜日</p> <p>午前 10 時～午後 3 時（正午～午後 1 時の休憩時間は除く）</p> <p>4 月 6 日～3 月 28 日までの実施</p> <p>相談日数 48 日、相談件数 64 件</p> <p>専門相談員 3 名体制で、対面方式と電話相談を実施しました。</p>
ふれあいサークル	<p>毎週金曜日（第 5 週休み）</p> <p>午後 1 時 30 分～3 時 30 分</p> <p>4 月 14 日～3 月 15 日までの実施</p> <p>実施回数 27 回、参加者延べ 139 名</p> <p>障がい者とその家族の方にレクリエーションや軽スポーツを実施しました。</p>
健康相談	<p>毎月第 2・4 木曜日</p> <p>午後 1 時 30 分～2 時 30 分</p> <p>4 月 13 日～3 月 28 日間の実施</p> <p>実施回数 22 回、相談件数 126 件</p> <p>身体のことによって不安を抱えた市民の方々に健康相談を実施しました。</p>
生き生きセミナー	<p>毎週水曜日</p> <p>午前 10 時～正午</p> <p>4 月 12 日～3 月 13 日までの実施</p> <p>実施回数 27 回、参加者延べ 280 名</p> <p>脳血管疾患やその他の障がい者の方や、その家族にレクリエーションや軽スポーツを実施しました。</p>
趣味の時間 「やまぶき」	<p>毎月第 1～4 水曜日</p> <p>午後 1 時～3 時</p> <p>4 月 5 日～3 月 27 日までの実施</p> <p>実施回数 40 回、参加者延べ 381 名</p> <p>脳血管疾患やその他の障がい者の方や、その家族に俳句・絵手紙・書道を実施しました。</p>
リハビリ事業 (訓練室開放)	<p>毎週月曜日・水曜日・金曜日</p> <p>午後 1 時～4 時</p> <p>4 月 1 日～3 月 31 日までの実施</p> <p>実施回数 124 回、参加者延べ 59 名</p> <p>病気やケガ、身体的機能が低下した方々を対象に、社会参加の促進と機能訓練の充実を図るために実施しました。</p>
ふくしプラザ フェスティバル	<p>9 月 7 日(木)～10 日(日)</p> <p>来館者延べ 1,204 名</p> <p>コロナ禍後、輪投げ大会・福祉バザー等を開催し、サークルの方々や障がい者団体の方々の活躍の場を提供しました。</p>

はーとふる フェスティバル	12月2日(土)・3日(日) 多目的ホールの空調増設工事のため、多目的ホールの長期間立入りが出来ず、メインイベントとなるバザーのバザー品の保管や、コンサート会場としての利用が出来ないこと等から開催中止となりました。
ふくしプラザ 芸能発表会	3月3日(日) 多目的ホール音響設備更新工事のため開催中止となりました。
高齢者健康講座 (リラックスヨガ) 地域交流事業	前期講座 5月8日～7月10日 午後1時30分～3時30分 実施回数10回、参加者延べ149名 後期講座 10月2日～12月25日 午後1時30分～3時30分 実施回数10回、参加者延べ170名 高齢者の日常生活に継続的な運動を行い、体力維持と健康増進を目的にリラックスヨガを実施しました。

○実習生の受け入れ

伊勢崎敬愛看護学院

看護師を目指す看護学生を実習生として受け入れを行いました。

人数 (2年生) 37名 (1年生) 45名 計 82名

(2) ふれあいセンター

高齢者の心身の健康の保持を図るとともに、市民の憩いの場を提供し、世代間の交流を促進するため、指定管理者制度によるふれあいセンターの管理・運営を行いました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和5年度	35,651	940	12	36,603	416	3	419	37,022
令和4年度	25,857	501	7	26,365	71	3	74	26,439

・年間開所日数 293日(前年度295日)

・開所時間 午前9時～午後4時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応は、特にカラオケにおいて飛沫防止シートを使い実施しました。

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	内容
ふれあいミニ図書コーナー	本館談話コーナーに書棚を設置し、利用者が気軽に読書を楽しめるようにしました。

地域交流事業 (七夕まつり)	7月1日(土)～7日(金)地域の利用者と七夕飾り作製や、 展示をし、交流を深めました。 開催6日間の人数合計680人
地域交流事業紙飾りづくり (体験)	9月27日(水)・28日(木)館内に飾られている紙飾りを利用者 と職員と一緒に作製しました 開催2日間の参加人数合計37人
地域交流事業観劇 『人情芝居』	10月27日(金)大広間にて劇団未来の人情芝居及び舞踊シ ョーを開催しました。 観覧人数130人(入館人数は180人)
地域交流事業 手作り作品展及び俳句展	11月29日(水)～12月3日(日)利用者の手作り作品及 び俳句を募集し、館内にて展示しました。 開催5日間の人数合計670人

(3) みやまセンター

みやまセンターは、地域に密着した老人福祉施設としてデイサービス事業も提供する複合施設です。

当センターでは、男女浴室をはじめ大集会室・教養娯楽室・相談室を有し、カラオケ設備も整っており無料の湯茶を設置して、仲間とのふれあいやレクリエーション等により、明るく健康な日々を過ごしていただく「生きがいつくり」の施設です。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和5年度	31,572	555	10	32,137	242	0	242	32,379
令和4年度	12,078	187	19	12,284	63	2	65	12,349

・年間開所日数 292日(前年度292日)

・開所時間 午前9時～午後4時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

空気清浄機や窓開けによる換気対策

カラオケ時の飛沫防止及びマイクの除菌

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
入館者感謝祭	10月31日(火)に実施 大広間にて劇団未来の人情芝居及び舞踊ショーを開催しました。 (当日の入館者数135人)
カラオケ発表会	新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。

地域交流事業 (あずま地区地域 ふくし交流事業)	9月19日(火)～28日(木) 地域の皆様の交流を深めることを目的に、あずま支所・あずま事業所・みやまセンター・高齢者生きがいセンターとの共催により、あずま地区の関係団体の皆様にご協力を頂き作品展を実施しました。 開催7日間の入館者数合計782人
消防訓練	・1回目 9月29日(金) ・2回目 3月14日(木) 入館者・デイサービス利用者・職員による総合訓練を実施しました。
初湯祭り	1月5日(金)に実施 大広間にて劇団未来の人情芝居及び舞踊ショーを開催しました。 (当日の入館者数158人)

(4) 高齢者生きがいセンター

高齢者生きがいセンターは、各福祉団体等の活動の拠点となっています。

高齢化社会を迎えた現在、介護予防として高齢者団体・民生委員・ボランティア等各種団体と連携し地域ネットワーク作りを通して多くの事業を行っています。

特に介護予防のための高齢者向けクラブ活動の推進や子育てサロンで未来を担う子供たちの健全育成の場として、最大限に活用している施設です。

I 年間利用者数

	利用回数	利用者数
令和5年度	132	2,896
令和4年度	123	2,101

- ・年間開所日数 292日(前年度292日)
- ・開所時間 午前9時～午後9時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
空気清浄機や窓開けによる換気対策

II 行事实施状況

生きがいセンターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・高齢者いきいき講座事業
- ・ボランティア活動事業(養成講座、ボランティアの会、傾聴ボランティアほか)
- ・子育てサロン事業
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・ふれあい昼食会(ひとり暮らし老人)
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など

○消防訓練：9月29日(金)・3月14日(木) 消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(5) 境地域福祉センター

地域の福祉活動の拠点として、会議室等の貸出管理をはじめ、多くの関係団体との連携や住民の協力を得て、様々な事業を展開し、高齢者及び障害者に対する各種サービスの提供や各種福祉団体の育成及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、福祉課題への対応、市民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図りました。

I 年間入館者数 (単位：人)

入館者別	利用団体数	利用者数	夜間 開所日数	夜間 利用団体数	夜間 利用者数
令和5年度	488	9,154	0	0	0
令和4年度	471	7,096	1	1	10

・年間開所日数 321日 (前年度321日)

・開所時間 午前9時～午後9時

II 事業実施状況

事業名	内容
トレーニングルームの開放と大型レクリエーション用具の貸出	通年 設置されたトレーニング器具の利用促進と使用方法の説明・指導。 大型レクリエーション用具の貸出管理
地域交流事業	屋内レクリエーションスポーツとしてボッチャボールセットやスポーツガラッキー等を貸し出し、地域の方々の交流の場を設け、集いの場としていただくことにより事業充実と施設の利用拡大を図りました。

境地域福祉センターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・ボランティア活動事業 (ボランティアの会、傾聴ボランティアほか)
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など
- ・高齢者いきいき講座事業
- ・子育てサロン事業

○消防訓練：9月20日(水)・2月21日(水) 消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(6) 境社会福祉センター

当センターは、カラオケ設備のある入浴施設で、会議室等の貸出しも行っています。

利用者は高齢者の方が多く、安心して入浴していただけるよう配慮し、大広間等ではカラオケなどで快適なひとときを過ごし、利用者相互の交流の場となれるよう運営管理を行いました。

年度事業としては、菖蒲湯等の提供や作品展示会の開催等を実施し、4月の鯉のぼりから翌年3月の雛まつりまで館内に飾り付けを行い、季節感を楽しんでいただきました。

I 年間入館者数 (単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外 (有料)			計
	無料	有料 大人	有料 小人	計	大人	小人	計	
令和5年度	15,566	56	0	15,622	36	0	36	15,658
令和4年度	14,238	44	1	14,283	5	0	5	14,288

・年間開所日数 293日 (前年度293日)

・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
菖蒲湯・柚子湯等の提供	5月2日に菖蒲、12月22日に柚子を入れた風呂の提供を行いました。他に、毎月26日を「風呂の日」として、ラベンダーやローズなどの入浴剤入りの風呂を提供し、入浴を楽しんでいただきました。
作品展示会	地域の書道サークルが作成した作品を、浴室への通路の壁面やテーブルに展示して、利用者に力作を鑑賞していただき、楽しんでいただきました。 (5月28日～6月11日)
鯉のぼり飾り	ロビーに鯉のぼりを飾り付けました。 (4月6日～5月7日)
七夕飾り	竹をロビーに用意して、センター利用者の願いを書いた短冊や、手作りの飾り物などを飾り付けました。 (6月27日～7月7日)
クリスマス飾り	ロビーと舞台にクリスマスツリーなどを飾り付けました。 (12月3日～25日)
正月飾り	新年を祝い、ロビーに正月らしい飾り付けをしました。 (1月5日～15日)
雛飾り	ロビーに雛人形などを飾り付けました。 (2月18日～3月3日)

地域交流事業	<p>当センターに隣接する障害福祉サービス事業所「くわのみ」の利用者が制作した絵、書道、手芸など多種の作品を、浴室への通路の壁面やテーブルに展示いたしました。</p> <p>作品のすばらしい出来栄えにセンター利用者から好評を博し、障害者施設へのご理解と、展示品と一緒に鑑賞していただき来館者相互の交流を図ることができました。</p> <p>(11月21日～12月1日)</p>
--------	--

(7) 児童センター

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、児童センターの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別 年度	幼児	小学生		中学生	高校生	一般	合計
		1～3年	4～6年				
令和5年度	13,769	3,417	2,758	832	267	14,717	35,760
令和4年度	12,034	2,564	1,909	709	97	13,396	30,709

- ・年間開所日数 293日(前年度293日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
児童館事業 土日開催事業	<p>季節の工作・レクリエーション・クリスマスビンゴ他34事業</p> <p>合計 455人</p> <p>人形劇2回 134人</p> <p>おもちゃの病院 6回 38件</p>
科学館事業	<p>プラネタリウム投影</p> <p>春夏秋冬番組 観覧者数 3,028人</p>
子育て支援事業	<p>ドレミタイム 全41回 877人</p> <p>子育て支援 全6回 103人</p> <p>読み聞かせ 全16回 315人</p> <p>ベビーマッサージ 全4回 69人</p> <p>かずさんと遊ぼう 全3回 58人</p> <p>ハワイアンリトミック 全3回 61人</p>

地域交流事業	夏休み宿題支援 全3回 22人
その他の事業	こどもの国リモートフェスティバル 全2回 81人 こどもの日行事 人形劇 78人 母親クラブ協力事業 親子クラブ（年通事業）年40回開催 16組参加
消防訓練	職員及び来館者を対象に実施しました。 1回目 参加者 45人（親子クラブ・来館者・職員） 2回目 参加者 34人（親子クラブ・来館者・職員）
水防訓練	水害について講師を呼び、図上訓練を職員で行いました。 職員 9人

（8）境児童センター

「子どもたち」やその子どもを育てる親、そして、親子を見守る地域を視野に入れ、児童に健全な遊びの場を提供し、豊かな心を育てる場所となり、児童福祉の推進の強化と子育て支援活動の充実・利用者の利便性の向上と地域拠点施設として適正な事業を図りました。

I 年間利用者数

（単位：人）

利用者別 年度	幼児	小学生		中学生	高校生	一般	合計
		1～3年	4～6年				
令和5年度	6,761	1,773	1,386	667	82	5,665	16,334
令和4年度	4,525	851	850	191	21	3,830	10,268

・年間開所日数 293日（前年度293日）

・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
こどもの日行事	「ぶっ飛び！エアプレーン」の工作キットに好きな色付けをし、組み立てて飛ばして楽しみました。 参加者 21名
観劇会	劇団「風の子」による「とかとか」を上演しました。 参加者 44名

地域交流事業	民生委員の協力を得て、「秋のお楽しみ会」を実施し、地元区長及び老人クラブ（下校時の見守り隊）を招待し交流を図りました。 参加者 104 名
ぬりえ大会	春休み（16 日間）、夏休み（16 日間）に募集し、募集期間終了後約 2 週間程度館内に展示しました。 延べ参加者 220 名
土日の一般事業	手形をとろう、シャボン玉遊びほか 24 行事を実施しました。 実施回数 26 回、延べ参加者 115 組 280 名
ベビーヨガ講座	実施回数 2 回、参加者 11 組 22 名
ベビーマッサージ講座	実施回数 1 回、参加者 6 組 12 名
まめっこ広場	シャボン玉遊び、手形をとろうほか 35 行事を実施しました。 実施回数 37 回、延べ参加者 209 組 436 名
消防訓練及び水防法に基づく避難訓練	職員及び来館者を対象に実施しました。（兼）まめっこ広場事業 実施回数 1 回、参加者 5 組 17 名

（9）赤堀児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援と「放課後児童クラブ」の管理運営を行っています。また、地域の小学生を対象にした「わくわくサタデー」などの工作体験や文化体験事業を行い、地域に根を下ろした児童館活動を実施しました。

I 年間利用者数

（単位：人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3 年	4～6 年				
令和 5 年度	2,014	12,125	394	641	54	3	1,747	16,978
令和 4 年度	1,175	13,201	232	628	62	3	982	16,283

・年間開所日数 294 日（前年度 294 日）

・開所時間 午前 9 時 30 分～午後 6 時

（放課後児童クラブについては放課後～午後 7 時、学校休業日は午前 8 時～午後 7 時）

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです

行 事 名	内 容
あそびの教室 毎月第2・4水曜日	5月24日(水)～年間14回実施 「お買い物ごっこ」他 延べ参加者：336人(幼児と保護者)
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月15日(土)～年間11回実施 「レジンアクセサリーづくり」他 延べ参加者：126人(小学生)
おはなしニコニコ 毎月第1・3金曜日	4月21日(金)～年間16回実施 絵本・パネルシアター・紙芝居他 延べ参加者：293人
放課後児童クラブ行事 ・月1回誕生会 ・月1～2回の遊び ・季節毎の壁面作り	4月10日(月)～年間32回実施 誕生日会・宝さがし遊び他 延べ参加者：1,689人 季節の壁面作り 年間4回実施 延べ参加者：216人
読み聞かせ 毎月第2・4木曜日	5月11日(木)～年間17回実施 絵本の読み聞かせ他 延べ参加者：258人
ベビーマッサージ 教室	4月19日(水)～年間6回実施 ベビーマッサージ 延べ参加者：78人 定員8組
防犯訓練 防火防災訓練	・8月1日(火)伊勢崎警察署指導による防犯教室及び不審者避難訓練 参加者：81人(児童・職員) ・10月25日(水)赤堀消防署指導による避難消火訓練 参加者62人(児童・職員)
地域交流事業	11月11日(土) 子供服交換会 来館者数：177人(71組)

(10) 赤堀南児童館

未就学児とその保護者が対象の子育て支援事業と小学校の児童が対象の放課後児童クラブ事業を行いました。また、学校や地域の人々と連携を図り、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和5年度	698	16,406	240	396	96	0	647	18,483
令和4年度	643	18,021	172	283	11	1	628	19,759

- ・年間開所日数 294日(前年度294日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
あそびの教室 毎月第2・4火曜日	4月17日(月)～年間16回実施 七夕飾りづくり他 延べ参加者307人
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月22日(土)～年間12回実施 プラバンづくり他 延べ参加者179人
赤ちゃんいらっしやい! 毎月第1・3木曜日	4月21日(金)～年間15回実施 わらべ唄あそび、ママリズム他 延べ参加者182人
放課後児童クラブ行事 月1回 誕生会 月1～3回 遊び行事 あそびの月間	4月10日(月)～年間28回実施 はじめましての会他 延べ参加者3,578人 あそびの月間10回実施 延べ参加者2,285人
おはなしタイム 毎週土曜日	4月1日(土)～年間50回実施 なぞなぞ、紙芝居、絵本、他 延べ参加者403人
地域交流事業	10月25日(水) こども一輪車教室開催 講師 日本一輪車協会指導員 下山 和大さん 参加者 16人

消防等避難訓練 年3回	5月25日(木) 避難訓練 [地震から火災]
	6月22日(木) 防犯訓練 [不審者]
	10月19日(木) 総合訓練 [地震から火災]

(11) 赤堀あさひ児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援事業と「放課後児童クラブ」の管理運営事業を行なっています。また、一般の人々を対象にした遊びの紹介や工作教室などの文化体験事業、学校や地域と連携し地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1~3年	4~6年				
令和5年度	462	15,700	157	365	20	5	853	17,562
令和4年度	477	15,543	80	106	20	2	711	16,939

・年間開所日数 294日(前年度294日)

・開所時間 午前9時30分~午後6時

(放課後児童クラブについては放課後~午後7時、学校休業日は午前8時~午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
あそびの教室 毎月第3水曜日	5月17日(水)~年間10回予定し10回実施しました。花かんむり作りやハロウィン、ベビーマッサージ、リズム遊び、クリスマス会などを実施、事前申し込み制で行いました。 延べ参加者 164人
わくわくサタデー 月1回 土曜日	5月13日(土)~年間10回予定し10回実施しました。スーパーボール作りやミサンガ作り、パステルアート、集団遊びなどを実施、事前申し込み制で行いました。 延べ参加者 120人
びこぴこルーム 毎月 第1・3月曜日	4月17日(月)~年間18回予定し18回実施しました。手遊び・絵本・紙芝居の読み聞かせを実施しました。 延べ参加者 134人
びこぴこたいそう 毎月 第2・4木曜日	4月27日(木)~年間19回予定し19回実施しました。ふれあい遊びや体操を実施しました。 延べ参加者 159人
子育て支援 ぺったんてがた 隔月 金曜日	4月21日(金)~年間4回予定し4回実施しました。成長記念に手や足の手形を台紙に取りました。 延べ参加者 62人

放課後児童クラブ行事 月1回 誕生会 年5回 サッカー 月2回 わんぱく製作・あそび他	4月20日(木)～年間47回予定し44回実施しました。しゃぼん玉遊びや割りばし鉄砲作り、七夕飾り、アロマ消臭剤づくり、リバーシ大会、絵馬作り、三角鬼ごっこ(屋外集団遊び)や季節行事などを行いました。 延べ参加者 2,400人
放課後児童読み聞かせ(おはなしパーク) 毎月 第1・3水曜日	4月19日(水)～年間14回予定し12回実施しました。絵本の読み聞かせ・紙芝居を行いました。 延べ参加者 267人
地震・不審者防犯 火災等避難訓練 年3回	5月26日(金) 地震避難訓練 参加者49人 7月28日(金) 不審者侵入・防犯訓練 参加者57人 12月6日(水) 総合消防訓練 参加者37人
地域交流事業	通年で施設南側道路沿いの花壇を「赤堀あさひ児童館ふれ愛ガーデン」として整備して、ラベンダーの刈取り後の無料配布その他地域住民の皆様との交流を図る事業を実施しました。

(12) きく児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康増進と情操豊かな心を身に付けました。また、子育て支援の拠点となる場を提供するとともに、放課後児童クラブの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和5年度	609	13,099	86	114	62	2	604	14,576
令和4年度	434	14,291	111	108	13	0	419	15,376

・年間開所日数 294日(前年度294日)

・開所時間 午前9時30分～午後6時

(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
児童館事業 プラバン作り	4月14日(金) プラスチック板を使ってネームプレートキーホルダーを作って楽しむことができました。 参加者 25人

その他事業 「子どもの日スペシャル」	5月 5日 (金) 色紙を使って、こいのぼり及び手裏剣を作って楽しむことができました。 参加者 4人 (親子)
児童クラブ事業 うんどう会	5月31日 (水) 指定のトラックを、パン食い競争、障害物リレー等で学年別に競い合いました。 参加者 68人
子育て支援事業 きしゃぽっぽスペシャル	6月12日 (月) 外部講師を招いて、乳幼児とその保護者でリズム遊びや親子のスキンシップを図ることができました。 参加者 19人 (9組の親子)
児童館事業 スライム作り	8月10日 (木) 絵具を使って様々な色のスライムを作り楽しむことができました。 洗たくのり、色水、ホウ砂を混ぜることで不思議な形状のスライムができることを学ぶことができました。 参加者 9人
児童クラブ事業 まり検定	9月19日(火)～29日(金) まりつきの技能を12段階として、友達とまりつきを楽しむとともに切磋琢磨して技能が高めることができました。 参加者(累計)180人
子育て支援事業 クリスマス会	12月11日 (月) 外部講師による、大型紙芝居やエプロンシアター、リズムに合わせて身体を動かし寒さを吹き飛ばすことができた。最後に、サンタクロースからプレゼントをもらって1日を楽しむことができました。 参加者 21人 (10組の親子)
その他事業 「地域交流事業」開催 (クリスマス会)	12月15日 (金) 放課後児童クラブ児が中心となり、司会進行から楽器演奏等行って開催することができました。また、外部講師を招いて参加者が楽しいひと時を過ごすことができました。児童クラブの小学3年生保護者や小学校区の区長さんにも参列していただきました。 参加者 91人
避難訓練(地震・火災) 不審者訓練	地震(2回) 7月31日=55名 11月6日=63名 火災(2回) 9月25日=69名 3月11日=61名 不審者(1回) 5月12日=80名

以上の行事の他に児童館事業として、月曜日(隔週)「おはなしきしゃぽっぽ」、水曜日(隔週)「おはなしのへや」を実施しました。また、児童クラブ行事として、「こま・まり・あやとり検定」「マンカラ大会」「上毛かるた大会」「まめまき」などを実施しました。

(13) さざんか児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、児童館の管理運営を行いました。放課後児童クラブ及び育児サークルの活動の支援を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和5年度	604	16,627	207	162	18	25	660	18,303
令和4年度	405	17,939	130	184	2	28	410	19,098

- ・年間開所日数 294日(前年度294日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は、次のとおりです。

行事名	内容
児童クラブ事業 探検ツアー	4月6日(木) 放課後児童クラブ利用児が通学路や児童館周辺を散策しました。 参加者 71名
児童館事業 どろだんご週間	5月9日(火)～12日(金) 泥だんご週間を設け、泥だんごを子どもたちが作りました。 参加者 80名
児童館事業 チャレンジサタデー 「マイベーゴマをつくろう」	6月10日(土) ベーゴマにデコレーションを行い自分だけのオリジナルベーゴマづくりをしました。 参加者 30名
児童館事業 七夕飾りづくり	6月28日(水)～7月7日(金) 昔からの伝統行事に慣れ親しんでもらうため、短冊に願い事を書き、竹笹に飾りました。 参加者 98名
チャレンジサタデー 「ロディオガ」	7月15日(土) ロディオを使用したストレッチを行うことで、柔軟性を養いました。 参加者 15名
児童クラブ事業 プラバンづくり「マイ・キーホルダーをつくろう」	9月25日(月)～29日(金) プラバンづくりを行いました。 参加者 88名

児童クラブ事業 避難訓練(地震・火災)	10月4日(水) 職員並びに児童により避難訓練・初期消火・通報訓練を行い、非常時に適切な行動がとれる訓練を行いました。 参加者 83名
児童館事業 マンカラ大会	10月26日(木)～11月2日(木) マンカラ大会を行いました。 参加者 89名
児童クラブ事業 Xmasパーティー (地域交流事業)	12月22日(金) 地域交流事業として地元関係者を招き、手話やハンドベルなど児童の日頃の成果を披露し交流を図りました。 参加者 109名
児童クラブ事業 お正月あそび	1月9日(火) 巨大かるた、だるま落とし、巨大福笑いなど新春にふさわしい遊びを行いました。 参加者 72名
児童館事業 あそびの検定 表彰式	2月5日(月)～9日(金) 14日(水)表彰式 けん玉、フラフープ、二重とび、一輪車など十種目の級取得に挑戦し、根気や達成感を醸成しました 参加者 87名

以上の他に、けん玉教室、ウクレレ教室、おはなしゆりかごスペシャルなどを行いました。

(14) あやめ児童館事業

児童に健全な遊びの場を提供し、児童の健康増進と情操を豊かにすることや、幼児を持つ母親たちの情報交流等の場としての充実を図るなど、子育て支援を実施し、また、放課後児童クラブの運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和5年度	966	12,714	556	319	162	13	1,105	15,835
令和4年度	648	14,070	213	237	32	5	662	15,867

・年間開所日数 294日(前年度294日)

・開所時間 午前9時30分～午後6時

(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

・利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
児童クラブ事業 児童館内探検 (1年生)	4月3日(月) 新1年生のクラブ員に、あやめ児童館内外を紹介しルールや使い方を説明しました。 参加者 23名
児童クラブ事業 対面式	4月19日(水) 新1年生と継続児の顔合わせの会で、児童館の遊びを、上級生が、紹介実演し、交流を深めました。 参加者 66名
児童館事業 アートバルーン作り	5月5日(金) こどもの日行事 未就学児や児童に風船でいろいろな動物を作りました。 参加者 9名
児童館事業 (子育て支援事業) ぺったんArt	5月17日・10月18日・2月28日(水) 乳幼児を対象に手形を作りました。 参加者 延べ62名
児童館事業 おはなしレストラン	5月～3月(各月の木)計36回 児童を対象に絵本・紙芝居の読み聞かせを行いました。 参加者 延べ1,409名
児童館事業 (子育て支援事業) おはなしポケット	5月～3月(各月の火)計18回 未就学児を対象に、わらべ歌、手遊び、リズム遊び、体操等を行いました。 参加者 延べ363名
避難訓練	6月28日(水) 10月25日(水) 1. 児童への事前説明 2. 火災発生(通報、初期消火) 3. 避難、人員確認 参加者 6月28日(水)31名 10月25日(水)47名
児童クラブ事業 おばけやしき	7月20日(木) 児童クラブ員を対象に、館内の一部でおばけやしきを体験しました。 参加者 57名
児童館事業 夏の工作	7月24日(月)～28日(金) 児童を対象に、プラバンでストラップ・クリップ等を作りました。 参加者 40名

児童クラブ事業 マイクロプラスチック ストーリー上映会	8月1日(火) 児童クラブ員を対象に、プラスチック汚染問題に取り組む小学生のドキュメンタリー映画を鑑賞しました。 参加者 50名
児童館事業 戦争と平和を考える 週間	8月7日(月)～10日(木) 戦争に関するお話と映像を視聴しました。 参加者 85名
児童館事業 (子育て支援事業) ハワイアンリトミック	9月28日(木) 乳幼児を対象に、ハワイアン音楽を手段として親子でふれあいました。 参加者 19名
児童館事業 (地域交流事業) あやめフェス	11月11日(土) 児童館内で大道芸や昔遊びなど体験するフェスを開催しました。 参加者 148名
児童館事業 クリスマス会	12月9日(土) クリスマス会で子ども達によるハンドベルの演奏やマジックショーを開催しました。 参加者 80名
児童クラブ事業 かるた大会	1月5日(金) 児童クラブ員を対象に、新年を迎え上毛かるた大会を開催しました。 参加者 36名
児童クラブ事業 みんなでワイワイ	3月26日(火) 児童クラブ員を対象に、子どもたちが楽しく交流をもてるゲーム大会とあやめカフェを行い、また子どもたちの手作り文集を配布しました。 参加者 57名

2. 社会福社会館の管理

社会福祉協議会総務企画課、地域福祉推進課、在宅福祉課、施設管理課が事務所を置き、地域福祉の増進、介護保険事業、ボランティア活動の増進、心配ごと・結婚相談事業、福祉団体の活動援助等の機能が十分に発揮されるよう運営しました。

また、会館内に伊勢崎歯科医師会、伊勢崎市薬剤師会の2団体が入居しているほか、以下の通り会議室の使用がありました。

○会議室使用状況

(単位:人)

	4階第1会議室 利用者数	4階第2会議室 利用者数	4階第3会議室 利用者数	合計
令和5年度	3,229	666	722	4,617
令和4年度	3,193	271	729	4,193